

武蔵野市第四期基本構想・長期計画策定委員会（第16回）会議要録

日 時 平成16年4月28日（水）午後7時～9時

場 所 武蔵野市商工会館市民会議室

出席者 東原委員長・小木副委員長・鶴川委員・廣瀬委員
増山委員・村田委員・古田土委員・永並委員
企画政策室長・企画調整課長・財政課長ほか

1. 開会

資料確認

2. 議事

(1) 事業計画案の追加、修正一覧（修正7件、新規8件）及び地球温暖化防止のための武蔵野市環境行動計画（要約版）について説明

主な討議は以下のとおり。

【委員長】桜堤調理場のことは、一度参考まで話を聞いておかなければならない。街路灯の照度アップについては、タウンウォッチング等では、照度アップより、例えば木の陰になって暗いところとか、割合きめ細かな問題提起が出ている。

【委員】全体的に街路灯が暗くて少ないという話になっている。今年度から徐々に事業を始めるという話を聞いたが、既に始めているのか。

【委員】今年度、5千万円の予算はついている。

(2) 職員ヒアリングについて

【委員】討議要綱への意見書を提出した4名の職員に話を聞くことにした。内容は、まちづくり、北町・桜堤の給食調理場、ファーストスクールの充実と職員のやる気。特にファーストスクールの充実というあたりの話を聞きたい。それから、自治基本条例、柔軟な行財政システム構築の具体像についてだ。

(3) 計画案について

【委員長】討議要綱は、市民や議会に対して、問いかけのために、成果を正面に出した。長期計画ではあまり過去の成果を述べるのはいかがかと思うので、むしろ4の「まちづくりの現状と課題」につながるような書き方をお願いしたい。これまで、ここまでやったと言って、次はこれだという書き方をお願いしたい。討議要綱とはこの点が変わる。一番のポイントは、6の「家族と

教育」だ。

【委員】ヒアリング等々で多かった意見については、内容につけ加える必要があると思う。

【委員長】有用な意見を出された場合に、その意見に答えたというメッセージを出し、我々が確実に反応していることを強調したほうが良い。

【委員】特に教育問題について、いろいろな発言があった。

【委員長】これまでの全員協議会、市民ヒアリングで出された意見で、これは非常に重要だという事項を持ち寄る必要がある。

【委員】私は、計画案ではファーストスクールをもう少し補充する。もう一点は、障害者（児）施策に対する意見が、多かったような気がするが、これを無責任に広げる訳にもいけないので、そこは慎重に検討したいと思う。

【委員長】障害者については、確かに今期の討議要綱は弱い。全員協議会と市民ヒアリングは重要な情報源なので、これは注目すべきだという意見を整理しよう。

計画案＜優先事業＞（案）について

6つの優先施策は、高齢者福祉の推進、子ども施策の推進、環境施策の推進、吉祥寺グランドデザイン、武蔵境のまちづくりの推進、安全安心なまちづくりの推進。6つの事業ではなく、施策という形だ。

計画案＜まちづくりの目標＞（案）について

【事務局】目標については、必ずしも分野ごとに1つということではない。分野をまたがる目標を設定することも考えられる。委員会で議論していただきたい。

【委員】補足だが、青森県の政策マーケティングとか、愛知県の東海市が社会指標を長期計画につけている。行政がつくるのではなく、実務家とか、住民のアンケートで、計画に見合う社会指標をつくっている。生活している中から、わかりやすい指標をつくるということも1つの方法だ。